

問題

以下の文章を読んで次の問いに答えなさい。

世界は、グローバル化が急速に進展し、人や物、情報等が国境を越えて行き交う大競争の中にあります。日本が将来にわたって国際社会の中で信頼、尊敬され、存在感を発揮しつつ発展していくためには、多様な人材が、社会の様々な分野で活躍することが求められます。また、少子・高齢化の進展に伴い、生産年齢人口が大幅に減少していく中で、経済成長を持続していくためには、イノベーションの創出を活性化させるとともに、人材の質を飛躍的に高めていく必要があります。

そのためには、教育の在り方が決定的に重要であり、若者の能力を最大限に伸ばしていくことが不可欠です。

- (1) 今日の社会の変化とその背景を述べ、それに対応するため、育成を図るべき能力について、あなたの考えを述べなさい。
- (2) (1)で述べたような能力を培うために、初等中等教育においてどのような取組を行うべきかについて、具体例を挙げながら述べなさい。

解答のポイント

論じるべきなのは「社会の変化と背景」と「それに対応するための育成すべき能力」と「初等中等教育における取組」である。問題文中にヒントが様々ある。育成すべき人材が「社会の様々な分野で活躍できる多様な」人材と「質の高い」人材であると述べられていることに気づければ、意図に沿って論じることができるだろう。

解答例

(1) 私が今後育成を図るべきだと考える能力は、「創造する力」と「主体的に考え行動する力」である。なぜなら、社会の変化として、世界規模の問題が、直接我々の生活に影響するようになってきたからだ。例えば経済のグローバル化により、世界的な不況の影響もより直接的になった。また、世界情勢に合わせて経営の合理化が進み、雇用形態も変化し、以前よりも即戦力となる人材や国際社会で活躍できる人材が求められるようになってきた。

また、少子高齢化や人口減少問題だけでなく、震災や異常気象などの災害に関わる問題や、エネルギー問題、その他の環境問題など、世界を取り巻く課題は多岐にわたっている。これらはそれぞれ関連する問題であり、先進国を中心とする世界各国が複合的問題に直面している。

このような中で、国際社会で活躍し、かつ複合的問題に対処するために、既存のものに加え、新しいものを生み出す力として、「創造する力」を育成すべきだと考える。さらに、「創造する力」を活かすためにも、自らの持つ知識や能力を活かすことができる「主体的に考え行動する力」も育成すべきであろう。

(2) まず、これらの能力を育成するためには、社会の変化を踏まえた基礎的スキルの向上を目指すべきである。

そのスキルの一つとして、語学力を高める必要がある。グローバル化に対応するために、小学校からの外国語活動はより積極的に進めていくべきだ。それに加え、情報リテラシーを高める教育は今後更に重要になってくる。経済や科学など、あらゆることに情報技術が関わっているからだ。よって、ただ技術を学ぶだけでなく、情報を収集し、その中から価値を見出し、社会と結びつけるという、知識を活用できる教育が求められる。学校教育の中でこのようにスキル向上のための活動が実践的に行えると、多様な人材が育成され、社会で応用できるのではないかな。

ただし、スキルを向上することができたとしても、それを社会の中で発揮できなければ意味をなさない。よって実践する主体性も必要である。最近では初等中等教育も変化してきており、自治体ごとに独自性が見られるようになってきた。自己の考えを自らの言葉で説明することや、他者の考えと自己の考えを比較する実践的な「思考の方法」という授業を取り入れている学校もある。また、授業をタブレット端末で自宅学習し、教室ではその知識を応用、発展させ、プレゼンテーションを行ったり、他者と協力して新しい考えを導いたりする等、「反転授業」を取り入れる学校もある。いずれも実験的な段階にあり課題はあるものの、知識のインプットだけでなく、アウトプットを意識した教育は変化の激しい社会において必要だと考える。このような能力を育て、既に学校教育の中で行なわれている職場体験や地域活動の中で能力を活かすことができれば、より人材の質を高めることができるだろう。

現在の社会問題は一つの答えを出すことだけで解決されるものではない。明確な答えが見出せないこともあるのではないかと感じる。そのような中でも将来の持続可能な発展のために、問題に立ち向かっていく力を学校教育の中で育成していくことが望ましい。

(約 1,250 字)